

2022年8月1日



各位

上場会社名 大阪瓦斯株式会社
 代表者 代表取締役社長 藤原 正隆
 (コード番号 9532)
 問合せ先責任者 財務部連結管理チームマネージャー 葛山 治彦
 (TEL 06-6205-4537)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期 連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,853,000	106,500	115,000	82,000	197.22
今回修正予想(B)	2,171,000	43,000	46,000	31,500	75.76
増減額(B-A)	+318,000	▲63,500	▲69,000	▲50,500	
増減率(%)	+17.2%	▲59.6%	▲60.0%	▲61.6%	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期※)	1,591,120	99,201	113,525	130,421	313.69

※当社はこれまで連結財務諸表を「連結財務諸表規則」及び「ガス事業会計規則」に基づき作成しておりましたが、当期より「連結財務諸表規則」に基づき連結財務諸表を作成しており、前期実績については、当該規則を遡って適用した後の金額となっております。

2. 修正の理由

米国時間2022年6月8日(日本時間2022年6月9日)に当社グループの投資先であり、かつLNG調達先の一つであるフリーポートLNGプロジェクト(以下、「当プロジェクト」)の液化基地において火災が発生し、基地の操業が停止しております。その後、米国時間6月30日に、当プロジェクトより今後の操業再開に向けた見通しとして、2022年10月上旬に部分的な操業再開を見込む旨が発表され、当プロジェクトの操業停止期間が当初見込みから延長されることとなりました。

当社グループは、当プロジェクトとの液化加工契約に基づき、年間約232万トンのLNG(当社グループLNG取扱量の約19%)調達を計画しておりましたが、今回の操業停止を受け、LNGの代替調達の他、LNG調達に付随する契約の変更等を進めております。加えて、当プロジェクトにおいて設備等の復旧に係る費用を含む損失が発生し、当社の出資比率に応じた損失を計上する可能性があります。

これらに関連する収益の減少、費用及び損失や、原油価格・為替レート等を一定の前提を置いて見直し、2023年3月期の業績に及ぼす影響を算定し、2022年4月26日に公表した2023年3月期の連結業績予想を上記の通り修正いたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、一定の前提を置いて算定したものであり、今後さまざまな要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上

【業績見直しにおける前提】

業績見直しにおける前提は以下のとおりです。

	原油価格(全日本 CIF 価格)	為替レート(TTM)
	ドル/バレル	円/ドル
前回発表予想(A)	95	115
今回修正予想(B)	110	135

【事業セグメント別の業績予想について】

事業セグメント別の 2023 年 3 月期の業績予想は以下のとおりです。

なお、今回の修正予想には当プロジェクトにおける火災に関連する収益の減少及び費用約 795 億円(※)を含んでおります。また、2023 年 3 月期第 1 四半期の連結決算において、当該影響により関連費用等 314 億円を計上しております。

(単位:億円)	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減額の説明
国内エネルギー事業	425	-365	▲790	・当プロジェクトの火災に伴う損失等▲650 ・エネルギー価格高騰、為替レート変更等▲140
内、電力事業	175	45	▲130	・エネルギー価格高騰、為替レート変更等▲130
海外エネルギー事業	570	670	+100	・エネルギー価格高騰、為替レート変更等+245 ・当プロジェクトに関連する持分法投資損益等▲145
ライフ&ビジネス ソリューション事業	215	215	—	—
消去等	-10	-10	—	—
セグメント利益計	1,200	510	▲690	—

※ 本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、一定の前提を置いて算定した想定値を含んでおります。

以上